

市民交流施設について

項 目	内 容
1 これまでの経過	
(1) 検討経過	江別市では、市民交流施設について、江別の顔づくり事業の中で、野幌駅周辺のにぎわいの創出と市民交流の中心的な施設として、民間の企画力や資金力を活用した民設民営での整備を基本として検討を進めてきました。
(2) 事業者選定	野幌駅南口広場に隣接する市民交流施設用地（※別紙1参照）について、宿泊施設と市民交流施設を中心とする複合的な土地利用を図ることを基本として、整備を行う事業者を平成30年6月に募集し、9月に選定しました。
(3) 入居予定	市民交流施設は、野幌駅周辺土地区画整理事業に伴い、イオンタウン江別に仮移転中の市民活動センター（運営：NPO法人えべつ協働ねっとわーく）と国際センター（運営：江別市国際交流推進協議会）を主要な機能として、選定事業者の建設する建物に入居する予定です。 また、同じ理由により、野幌鉄南地区センターに移転した江別市生活環境部戸籍住民課の証明交付窓口についても、市民交流施設への移転を予定しています。
(4) 市民交流施設利活用検討会	江別市では、市民交流施設の利活用方法を検討するため、有識者（北海道情報大学）、関係団体（野幌駅周辺地区活性化協議会、江別市自治会連絡協議会、江別市女性団体協議会、NPO法人えべつ協働ねっとわーく、江別市国際交流推進協議会）から推薦のあった者、公募市民の計10名による市民交流施設利活用検討会を、平成30年10月から11月にかけて計3回開催し、利活用（案）をまとめました。
2 施設の概要	
(1) 施設内容	宿泊施設と市民交流施設の複合施設 ※市民交流施設には、市民活動センター、国際センター、証明交付窓口が入居予定
(2) 所在地	市民交流施設用地（野幌駅南口駅前広場に隣接する市有地） 江別市東野幌本町5番地10 ほか
(3) 床面積	534.4㎡ ※市民交流施設利活用検討会の議論を踏まえて、事業者が提案した面積（502.2㎡）から変更
(4) 選定事業者	代表事業者 クリーンハウス株式会社 構 成 員 株式会社メジャーセブン
(5) 開業予定	2019年12月予定
3 参考資料	別紙1 市民交流施設用地位置図 別紙2 選定事業者からの提案概要 別紙3 市民交流施設イメージ図

市民交流施設の利活用の検討に当たっての視点・考え方

市民交流施設利活用検討会では、以下のような視点や考え方で市民交流施設の利活用について検討しました。

- ① 野幌駅南口に隣接した立地条件を活かした交流の場
- ② 子どもから高齢者まで、市民はもとより留学生や外国人技能実習生、ホテルに宿泊する観光客など、多様な利用者を想定し、発展性・継続性のある利活用
- ③ 開放感にあふれた空間

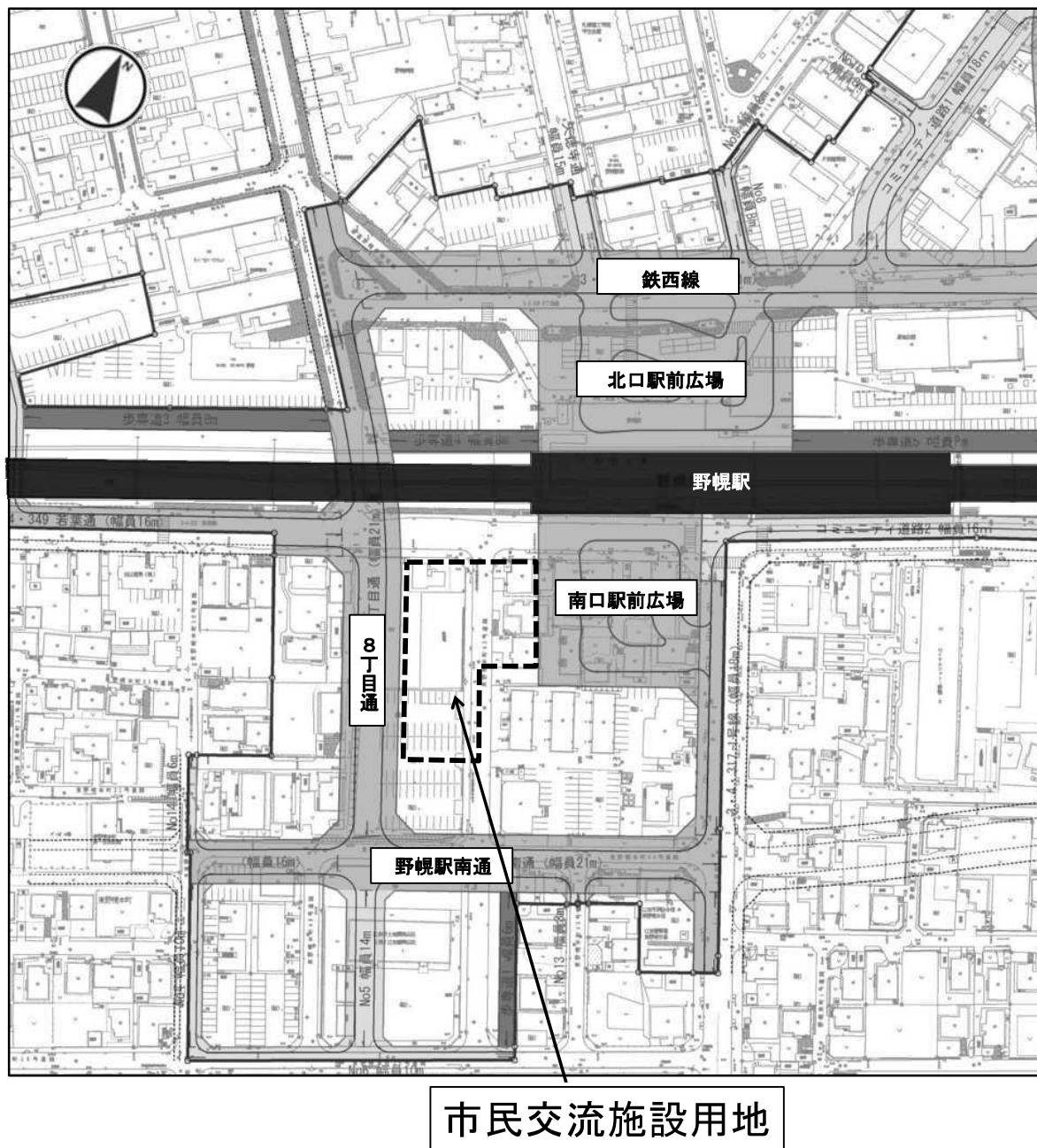
市民交流施設の利活用（案）

※パブリックコメント
対象箇所

※入居予定の市民活動センター、国際センターの現在の活動を継続しながら

- ① ふらっと気軽に立ち寄れる場
 - ・フリーWi-Fiの設置
 - ・待ち合わせ場所として活用
 - ・商店街と連動したスタンプラリー等の仕掛け
- ② にぎわいを創出する場
 - ・バザー、フリーマーケット、ファーマーズマーケットの開催
 - ・四季の広場を季節ごとに飾り付け
- ③ 多世代・多国籍の交流ができる場
 - ・高齢者が外出するきっかけ
 - ・留学生向けイベントや民間企業の外国人技能実習生向け日本語教室の開催
- ④ 様々な活動ができる場
 - ・会議室を市民活動団体の活動・語学教室の開催のほか、一般の人でも利用可能に
 - ・大学サテライト教室としての活用
 - ・交流サロンを活用した各団体の活動発表
 - ・風除室をギャラリーとした作品の展示
 - ・音楽イベントなどを通じた大学や高校間の交流
- ⑤ 江別の魅力を発信する場
 - ・江別の観光案内
 - ・四季の広場でのイベントを通して江別の魅力発信

市民交流施設用地 位置図



提案概要

・提案主旨

【開発コンセプト】

RE BORN NOPPORO (リ・ポーン・野幌) 「生まれ変わる野幌」と「地域を結ぶ施設」

再整備される野幌駅のあたらしい街の顔として、様々な人やモノや情報が集まる施設を目指します。ホテルと交流センターは共有のスペースを持つことにより、人と人を結び、地域(江別・野幌・大麻)を結び、定住者と交流者を結び、世代を結ぶ施設とします。街区に整備予定のグリーンモールの結節点として、また駅やバス等交通動線の中心的な施設として、また様々な街のイベントが開催できるような地域のにぎわいのある拠点として、環境に配慮した施設を整備します。



・事業概要

【プロジェクト概要】

- プロジェクト名: (仮称)野幌駅前複合ビル新築計画
- 所在地: 北海道江別市東野幌本町
- 施設概要: 市民交流センター・ホテル

客室タイプ	(㎡)	室数	割合
シングルルーム	14.4	36	52.9%
ツインルーム	18.0	32	47.1%
合計		68	100.0%

【市民交流センター棟】

- ・施設面積 502.20 ㎡
- ・付帯駐車場 30 台
- ・事業者整備の上、市と賃貸借契約予定

【ホテル棟】

- ・計画客室数 68 室
→マーケットに即したルームミックスとします。
- ・レストラン 30 席(朝・昼の営業予定)
→夜の食事は地域の飲食店に誘導。
- ・売店 →地域の産品を中心にした品揃えとします。
- ・駐車場 26 台

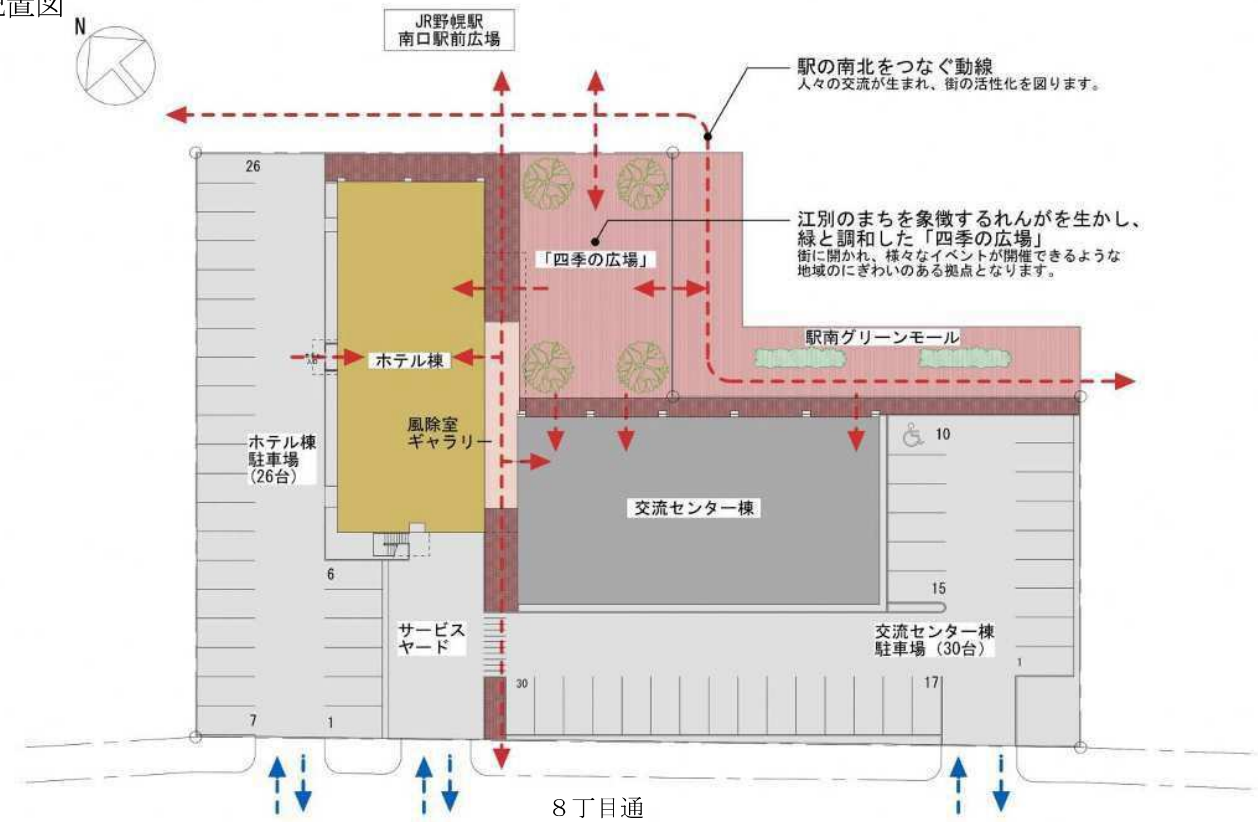
・事業の方針

- 様々な交流観光の「場」を目指し、新しい交流人口を滞在させることにより、地元経済に活力を与え、関わる全ての人々がワクワクドキドキする場にします。
- 「地域のコンシェルジュ」として、宿泊客だけでなく、ホテルを訪れる全てのお客様に、市民に地域の情報、魅力を発信します。
- 地元にも必然性のあるホテルとして、地域の多様な「たから」を連携させるホテル運営を目指し、エリアの付加価値の創造につなげます。
- 大学の街、江別市のホテルとして、産学官連携による新しい機軸の観光を基本にして、江別ブランドの確立や、観光資源のパッケージ化を行い、江別市のシティプロモートへの貢献を目指します。
- 地域貢献について、以下の事で具体策を提示致します。
 - *ホテルを運営する株式会社メジャーセブンの本社を江別市に移転します。
 - *ホテル名を公募します。
 - *地域のマップを作成し地元商店街との連携を図ります。
 - *地元企業を優先的に取引先とします。
 - *外観や外構にはレンガを利用します。
 - *地域の食材を使ったメニューを開発し、お客様に提供します。

・施設概要

- 建物用途: 市民交流センター・ホテル
- 建築面積: 937.78 ㎡
- 延床面積: 2,451.60 ㎡
- 構造/規模: 【市民交流センター】鉄筋コンクリート造/平屋建て 【ホテル】鉄筋コンクリート造/5階建て
- 施設面積内訳: 【市民交流センター】502.20 ㎡ 【ホテル】1,901.40 ㎡ 【風除室・ギャラリー】48.00 ㎡
- 駐車場面積: 1,479.87 ㎡(市民交流センター840.05 ㎡ ホテル 639.82 ㎡)
- 四季の広場: 276.15 ㎡
- 施設開業予定: 2019年12月予定

・配置図



外観イメージ図



鳥瞰イメージ図

市民交流施設 イメージ図

